

○枚方市立伊加賀スポーツセンター条例

(設置)

第1条 生涯スポーツの活動の機会と場を提供することにより、市民の健康の増進と体力の向上に資するため、枚方市立伊加賀スポーツセンター（以下「センター」という。）を設置する。

(位置)

第2条 センターの位置は、枚方市伊加賀西町53番2号とする。

(事業)

第3条 センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) センターの施設及び附属設備（以下「センターの施設等」という。）をスポーツの利用に供すること。
- (2) スポーツ教室を開催し、その他スポーツの普及を図ること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、第1条に規定する目的を達成するために市長が必要と認める事業

(指定管理者による管理)

第4条 センターの管理は、法人その他の団体であつて、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

2 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 前条各号に掲げる事業の実施に関する業務
- (2) 第7条に規定する使用の許可及び第12条第1項に規定する使用の許可の取消し等に関する業務
- (3) 第9条から第11条までに規定する利用料金に関する業務
- (4) センターの施設等の維持管理に関する業務

(休所日等)

第5条 センターの休所日は、次に掲げる日とする。

- (1) 第4木曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たる日を除く。）
- (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日

2 センターの開所時間は、次の表のとおりとする。

区分	開所時間
運動広場	午前 8 時から午後 7 時までの間において、時季に応じ、規則で定める時間
テニスコート	午前 8 時から午後 9 時まで
体育館	午前 9 時から午後 9 時まで

3 駐車場の開所時間は、センターの開所時間の前に引き続く 1 時間から開所時間の後に引き続く 1 時間までの間において、指定管理者が市長の承認を得て定める時間とする。

4 前 3 項の規定にかかわらず、指定管理者は、市長の承認を得て、休所日及び開所時間を臨時に変更することができる。

(団体登録)

第 6 条 センターの施設（運動広場及び体育館に限る。）の専用使用（以下「専用使用」という。）をすることができるものは、指定管理者の登録を受けた団体とする。

2 指定管理者は、前項の登録を受けた団体が不正な手段により登録を受けたと認めるときその他不相当と認めるときは、当該登録を取り消すことができる。

(使用の許可)

第 7 条 センターの施設等を使用しようとするものは、規則で定めるところにより、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可に際し、センターの施設等の管理運営上必要な条件を付することができる。

(使用の許可の基準)

第 8 条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、センターの施設等の使用を許可しないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) センターの施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認めるとき。
- (3) 祭事等の宗教行事又は布教活動に該当すると認めるとき。
- (4) 営利を図る活動に該当すると認めるとき（指定管理者が適当と認めた場合を除く。）。
- (5) 入会、寄附等の勧誘その他これに類する行為（指定管理者が特に認めるものを除く。）を伴う活動に該当すると認めるとき。
- (6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団の利益になり、又はその利益になるおそれがあると認めるとき。

(7) 管理運営上支障があると認めるとき。

(8) 前各号に掲げる場合のほか、指定管理者が不適當と認めるとき。

2 前項に規定する場合のほか、指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、市長が特に承認した場合を除き、専用使用を許可しないものとする。

(1) 使用人員が10人に満たないものが専用使用を行うとき。

(2) 同一のものが引き続き5日を超えて専用使用を行うとき。

(利用料金)

第9条 センターの施設等の使用の許可を受けたもの（以下「使用者」という。）は、使用の許可を受けた際に、指定管理者にセンターの施設等の使用に係る料金（以下「利用料金」という。）を支払わなければならない。ただし、規則で定めるときは、使用の許可を受けたセンターの施設等の使用の開始までに行うことができる。

2 駐車場を使用した者は、自動車を出庫させる際に、指定管理者に当該駐車場に係る利用料金を支払わなければならない。

3 利用料金の額は、次の各号に掲げる区分に応じて当該各号に定める金額を超えない範囲内で指定管理者が定めるものとする。

(1) 施設利用料金 別表に定める金額

(2) 附属設備利用料金 3,000円を超えない範囲内で市長が別に定める額

4 指定管理者は、センターの施設等の使用につき、特に収益が見込まれる場合においては、前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる区分に応じて当該各号に定める金額を利用料金の額とすることができる。

(1) 施設利用料金 前項の規定により指定管理者が定める施設利用料金の額から当該収益の総額に100分の5を乗じて得た額までの範囲内において指定管理者が定める額

(2) 附属設備利用料金 前項の規定により指定管理者が定める附属設備利用料金

5 前項の場合における利用料金の支払の期限は、第1項の規定にかかわらず、当該収益の総額が確定した日の翌日から起算して1月とする。

6 指定管理者は、利用料金の額を決定するに当たっては、あらかじめ、市長の承認を受けなければならない。その額を変更するときも、同様とする。

7 市長は、指定管理者に利用料金を当該指定管理者の収入として収受させるものとする。

8 市長は、第6項の承認を行ったときは、その旨を公示するものとする。

(利用料金の還付)

第10条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、市長が別に定める基準に従い、その全部又は一部を還付することができる。

(利用料金の減免)

第11条 指定管理者は、市長が別に定める基準に従い、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(使用の許可の取消し等)

第12条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、使用の許可を取り消し、又は使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者が偽りその他不正な手段により使用の許可を受けたとき。
- (2) 使用者がこの条例、この条例に基づく規則又は使用の許可に係る条件に違反したとき。
- (3) 第8条第1項各号又は第2項第1号のいずれかに該当することとなったとき。

2 市は、前項の規定による使用の許可の取消し又は使用の停止の措置が行われた場合において、使用者に損害が生ずることがあっても、その賠償の責めを負わない。ただし、市の責めに帰すべき特別の事由があると認められる場合は、この限りでない。

(使用の権利の譲渡等の禁止)

第13条 使用者は、センターの施設等の使用に係る権利を譲渡し、又はセンターの施設等を目的外に使用し、若しくは他のものに使用させてはならない。

(施設等の変更等の禁止)

第14条 使用者は、センターの施設等に変更を加え、又は特別の設備を設けてはならない。ただし、あらかじめ指定管理者の許可を受けたときは、この限りでない。

(原状回復の義務)

第15条 使用者は、センターの施設等の使用を終了し、又は第12条第1項の規定によりセンターの施設等の使用の許可を取り消され、若しくは使用の停止を命ぜられたときは、直ちにセンターの施設等を原状に復さなければならない。ただし、指定管理者の許可を受けたときは、この限りでない。

(職員の配置)

第16条 市長は、指定管理者をしてセンターに所長その他センターの管理に必要な者を置かせるものとする。

(損害賠償)

第17条 センターの施設等を損傷し、又は滅失した者は、これを原形に復し、又はその損害

を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事由があると認めたときは、この限りでない。

(委任)

第18条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して7月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

附 則〔令和2年3月10日条例第1号抄〕

(施行期日)

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

別表(第9条関係)

1 専用使用

(1) 運動広場及びテニスコート

区分		単位	金額
市内使用者	運動広場	1時間	750円
	テニスコート	1面1時間	600
市外使用者	運動広場	1時間	1,500
	テニスコート	1面1時間	1,200

備考 この表において、「市内使用者」とは市内に在住し、在職し、若しくは在学する者又は主としてそれらの者で構成する団体をいい、「市外使用者」とは市内使用者以外のものをいう。

(2) 体育館

区分			金額			
			午前	午後A	午後B	夜間
			午前9時から 正午まで	正午から午後 3時まで	午後3時から 午後6時まで	午後6時から 午後9時まで
市内 使用	大体育室	全面	6,000円	6,000円	6,000円	8,200円
		1 / 2面	3,000	3,000	3,000	4,100
	体育室1		1,600	1,600	1,600	2,200
	体育室2		1,500	1,500	1,500	2,000

者	多目的室		700	700	700	900
市 外 使 用 者	大体育室	全面	12,000	12,000	12,000	16,400
		1 / 2 面	6,000	6,000	6,000	8,200
	体育室 1		3,200	3,200	3,200	4,400
	体育室 2		3,000	3,000	3,000	4,000
	多目的室		1,400	1,400	1,400	1,800

備考

- この表において、「市内使用者」とは主として市内に在住し、在職し、又は在学する者で構成する団体をいい、「市外使用者」とは市内使用者以外の団体をいう。
- 使用者が入場料その他これに類するものを徴収して使用する場合におけるこの表の適用については、同表に掲げる金額（以下この表において「基本額」という。）に2を乗じるものとする。
- 次に掲げる者（以下「中学生等」という。）の団体が使用する場合におけるこの表の適用については、基本額又は備考2の規定による金額に0.5を乗じるものとする。
 - 中学生以下の者
 - 60歳以上の者
 - 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者
 - 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者
 - 大阪府療育手帳に関する規則（平成12年大阪府規則第42号）第7条第2項の規定により療育手帳の交付を受けた者
 - 知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）の規定に基づく知的障害者更生相談所、児童福祉法（昭和22年法律第164号）の規定に基づく児童相談所又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の規定に基づく精神保健指定医により知的障害があると判定された者
- 冷房施設又は暖房施設を使用する場合におけるこの表の適用については、基本額又は備考2若しくは備考3の規定による金額に、使用者が市内使用者であると仮定した基本額に0.2を乗じて得た額を加算するものとする。

2 個人共用使用

区分	単位	金額
----	----	----

市内使用者	大体育室	1 回 2 時間	200円
	体育室 1		
	体育室 2		
	トレーニング室		
	多目的室		
市外使用者	大体育室		400
	体育室 1		
	体育室 2		
	トレーニング室		
	多目的室		

備考

- この表において、「市内使用者」とは市内に在住し、在職し、又は在学する者をいい、「市外使用者」とは市内使用者以外の者をいう。
- 使用単位は、使用開始時から起算して2時間を1回とする。ただし、大体育室、体育室1及び多目的室に係る使用単位は、午前9時から起算して2時間ごとを1回とすることがある。
- 中学生等が使用する場合におけるこの表の適用については、同表に掲げる金額に0.5を乗じるものとする。

3 駐車場 使用開始時から、1時間までは無料、1時間を超えた場合は1時間を超える部分1時間につき300円。ただし、使用開始時から3時間を超えた場合は、800円とする。

備考 駐車場以外のセンターの施設等を使用する者以外の者が使用する場合は、「使用開始時から、1時間までは無料、1時間を超えた場合は1時間を超える部分1時間」とあるのは「1時間」と、「3時間」とあるのは「4時間」と、「800円」とあるのは「1,500円」とする。